

午前 11時53分開会

○秋谷座長 ただ今から、令和5年度第2回区民集会運営協議会を開催いたします。連合町会長の皆様におかれましては、お忙しい中お時間をいただきありがとうございます。本日はこれから30分程度で進めてまいりたいと存じますので、何卒よろしくお願い申し上げます。皆様のお手元にお配りさせていただきました資料の確認を事務局からお願いいたします。

○安田次長 それでは、お手元の資料についてご説明いたします。まず資料1-1、令和4年1月に区民集会運営協議会から区にご提出されました予算要望書。次に資料1-2、皇居周辺の濠や河川の浄化に向けた対策強化を求める要望書、こちらは前回の区民集会の成果として、国や都に提出した要望書でございます。続いて資料1-3、こちらは令和4年度に区が行った外濠の水質改善対策の実績でございます。続いて資料1-4、令和5年度の取り組み 外濠水質改善暫定対策として、今年度の区の取組についてでございます。続いて資料2-1、こちらは先日連合町会長の皆様から頂戴したテーマについての要望書でございます。続いて資料2-2、区民集会のテーマ案として前回のご意見等をふまえ改めてご用意したものでございます。資料のご説明と言いますか、確認は以上でございます。

○秋谷座長 よろしいでしょうか。それでは、本日の議題に入ります。日程1、昨年度の区民集会テーマ「お濠の浄化」の成果について。前回の運営協議会で井田会長からご意見をいただきましたこの件について、資料を用意してありますので、事務局から説明をお願いします。

○安田次長 前回7月の会議で、これまでの成果についてのお尋ねをいただきましたので、お濠の浄化の取組の成果について本日は資料をご用意しております。資料1-1と1-2は樋口区長はじめ、国や東京都への要望書を区民集会運営協議会として作成し提出したものです。次に資料1-3、1-4は外濠の水質改善に昨年度から東京都と連携協力して、区が取り組んできた具体的内容でございます。写真では水質改善処理剤散布の効果が現れていることが明らかになっております。資料のご説明は以上でございます。

○秋谷座長 この件について、皆様から、何かございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○秋谷座長 次に日程2、今年度の区民集会のテーマについてです。前回の運営協議会では、皆様から町会への支援についてのご意見を多く頂戴しました。また、皆様、連合町会長協議会から「町会の活動活性化の推進に関する条例の制定」をテーマとするようご要望もいただきました。区議会としても、町会をはじめとした様々なコミュニティ活動をこれまで以上に後押しすべく、区民集会のテーマを「これからの地域コミュニティの形成と継承」として、町会の支援やコミュニティの活性化を目指して取り組んでいきたいと存じます。

なお、本日のこの場では、まずはテーマの決定を主な目的とし、具体的な方法は今後さらに検討を重ねていきたいと存じます。どうぞご理解をお願い申し上げます。

詳細に関しては、事務局から説明をお願いします。

○安田次長 テーマにつきましては、前回の会議でのご意見や連合町会長協議会からの要望書等を踏まえて、まず大枠としてコミュニティ形成についてうたうかたちにしております。次に、このテーマで想定される実施事業内容ですが、これまでの区地域振興部での取

組の紹介、そして、これまで他の自治体で、町会支援やコミュニティ活性化に、多く関わってきいってらっしゃる有識者を講師にお招きして、講演・勉強会を同日に実施していきたいと考えております。これは来年1月下旬を実施時期に予定するものです。その後、来年度7月に先進事例の視察、その後10月には区議会の議場を会場にしてパネルディスカッション形式でシンポジウムの実施を想定しています。また、ご要望をいただいている条例制定に向けては、具体的に、条例内容の検討を他自治体の先進事例も参考に、来年の1月から検討を開始していくことを考えております。ご説明は以上でございます。

○秋谷座長 このことについて、皆様から、何かございますでしょうか。

○津田委員 神田駅東連合の津田でございます。具体的な内容は次回からということだったんですけど、テーマ案として、「これからの地域コミュニティの形成と継承」というタイトルを考えたいとありますけど、地域コミュニティが指しているものを、ちょっと確認をさせていただきたいと思います。何を対象とし、地域コミュニティとしてお考えなのかということですね。というのは、この概要のところを書いてあるのは、まあ、住民系を書かれているので、もうちょっと具体的に教えていただきたいと思います。

○安田次長 まず、地域の皆様、さらには、千代田区で活動されているNPO団体など、地域のために活動されている方、そういった関係であると考えております。

○津田委員 ちょっと、あの、重ねての質問で恐縮なんですけど、住民を対象にしているという理解でよろしいんですか。

○安田次長 もちろん地域の住民の皆様、これが一番の主体となります。さらには、これは千代田区の場合、地域の住民だけでなく地域を構成している関係機関等もございますので、そういった関係機関とのつながり方、いわゆる例えば、町会活動に対してメリットが出てくるようなそういったような取り組みやつながり方を研究できればと考えております。

○津田委員 ちょっと、いいですか、さらに。千代田区107町会の中には、大手町や丸の内みたいに企業町会もあるんですよ。で、地域振興部のお考えは基本的に地域コミュニティは住民というような定義をされていらっしゃるんですけど、企業町会も存在しているのが千代田区の実態なんですね。今言った事業所というのは、そこで、まあ、何と申しますかね、NPO的な話で、今されたんで、そこに会社がある、在勤企業そのもの、これ、やっぱし、もっと地域活動に参加するべきじゃないかと私は考えているんですけど、それは、今回、対象とされるかどうかをちょっと具体的に聞いておきたいと思います。

○安田次長 そこは、その地域にある企業、そちらにいらっしゃる方で、地域の活動に積極的に参加されている方もいらっしゃいますから、そういった方々も対象にすると、そのように考えておるところです。

○萩原委員 神保町地区、萩原です。区長や議長などに要望書を出してございますけれども、まあ、例えば要望書、要望事項の中で、町会及び地域活動への支援ということ、まあ、ありますが、これは改めてこうお願いするわけですけども、前回の協議会のときに、千代田区は6万8,000まで戻りましたと言っていたけど、同じことをお話ししますが、我々町会の会員は全然増えていないんですよ。我々は町会の代表なんですよ。区民の、地域の代表というわけではないんですが、で、この間、今日お返事いただけということでしたけれども、地域、うーん……、地元の町会または企業の方々に入っただく、その特典を何か考えていただけないかなというお願いをしたと思うんですけども、

今日お返事いただけるということだったのですが、ちょっとそれがないんで、いかなのかなと思ひましてね。

○安田次長 大変申し訳ないんですが、この運営協議会では、今、萩原会長お尋ねの、いわゆるご回答と申しますか、お答えをするというお約束は、この多分、前の会議、連合町会長会議に対してじゃないかと……

○萩原委員 議長にお話しした。で、議長は、じゃあ次回にというお話だったね。

○安田次長 まあ、今日はちょっと具体的なお答えはできませんけれども、この場でご用意していないので。ただ、先ほどご説明申し上げた、こちらのこの内容で、例えば先進事例の取組で、市によっては、町会に加入した場合に、その地域通貨、DX、地域通貨ですね、ポイントを付与するという、そういったインセンティブも実施している自治体もあるというふうに聞いておりますので、そういったところも視察をさせていただきながら、具体的に研究をさせていただきたいというふうに考えているところでございます。また、来年1月の講演会、こちらにコンサルタントの有識者の方に、『自治会・町内会 負担軽減&IT活用事例ブック』、こういったご本も既に著作として書いていらっしゃるようですね。そういった方を講師としてお招きをさせていただきたいと考えておりますので、したがって、この間の萩原会長のご質問等も徐々に組み入れながら、それを具現化していくような、そういう方向で整理をさせていただければと考えているところでございます。

○萩原委員 じゃあ、どうも、返事になっていないんじゃないかなと思って。まあ、引き続き考えてください。難しいのかどうか、できないか、できるのかどうか、それだけでもいいですからね。お願いします。

○秋谷座長 はい。ありがとうございます。承知いたしました。

他に何かございますでしょうか。

○小枝委員 前回は大変積極的なご意見を頂いて、私もすごく刺激を受けましたし、町会長さんたちの感じている危機感とか、すぐにこう、まあ、条例をつくるなり方針を出すなり、もう、行政が駄目なら議会、議会が駄目ならば行政、あるいはその両側からやっていくってこれという話だったというふうに受け止めております。それで、今日、今後の日程感を出していただいたと思うんですけれども、私、少し、前回は申しましたけれども、一つは、やっぱり都市部がみんな困っているということもあって、つながるということだと思うので、この京都市の、これはマンションを建てる時にもつながっていくような枠組みの条例であるということと、それから、これは福岡市なんですけれども、先ほどの問い、質問にもあった地域コミュニティとは何かと、まず、その定義をしっかりと分かりやすく整理をされた中で、いろいろな団体が町会や自治会を核にして、やはりつながっていくことを示しています。あとは、京都なんかは、子どもたち向けに、こうしたアニメで、まちって大切だよ、つながりって大切だよということを配付しています。そうしたことが、それぞれ条例をつくっている自治体がありますので、できれば次の回までにそうした自治体の特徴を出していただいて、できるだけ千代田区に合った、ベストマッチングなものを選び出して、できることはどんどんやる。そして、少し調査を要することはみんなで、区議会全体の調査費も使いながらやっていくという形で、議長のほうでリーダーシップを取ってもらえたらなというふうに思っております。よろしく願いいたします。

○秋谷座長 ありがとうございます。

その他、ご意見ございますでしょうか。

○春山委員 はい。すみません。ごめんなさい。ちょっと、今日、発言は控えようとは思っていたんですけども、私自身は町会に、十何年住んでいながら、一度も町会加入を勧められたこともなく、どちらかというところ、お祭りのところを、子どもを連れて、前を通りかかっても、何かちょっとご挨拶しても誘われなかったりみたいな、そういう側に来た立場として、ちょっとお話をさせていただきたいと思います。

で、ちょっと事務局のほうには、確認をしたいのが、一つ、今、環境まちづくり部のほうで、エリアマネジメントなりエリアプラットフォームを検討していくという動きがある中、その町会とそのエリアマネジメントやエリアプラットフォームの検討の動きはどういうふうに関連していくのかという像がちょっと見えていないのが気になっています。そのエリアプラットフォームなりの検討は、今、千代田区で起きているこのマンションコミュニティと新しい住民と古くから地域を担ってきてくださった地域活動をしてきてくださった町会との間をうまくつなぐ形で、まちを機能更新していくということが目的で、今、検討されていると思うんですけども、そこと、この、これからの地域コミュニティの在り方、町会の活性化の在り方というのは、どう連携していくのかということも論点として考えていくべきではないのかなというふうに思っています。

で、私は、番町地区のため、神田の連合会の方々がすごく多い、神田のことというのは、ちょっとあんまり存じ上げていない中で大変申し訳ないんですけども、町会、町会によって、すごくこう、活性化しているところと、疲労しているところと、というのも、それなりにいろんな色分けがあるのかなというふうに思っています。番町は番町の特色がありますし、神田は神田、麹町は麹町、それぞれの地区特性に合った、本当は活性化の仕方というのを、一律じゃなく議論していく必要もあるのではないかなというふうに感じています。町会、何というの、土地利用の在り方で、新住民がすごく増えているところと、そうではなくて、商店街で古くからの方々が構成されているところ。そこはもっと町会を盛り上げていくやり方があるのかもしれないです。新住民が多いところは、うまくその新住民と町会が連携した在り方というのは、議論されてもいいのかなと思います。

それともう一つ、先ほどの環境まちづくりとの関係性で行きますと、あんまりこれは町会批判というふうには受け止めてほくはないんですが、ウォークブルのプロジェクトを推進している中で、ご相談が何件か私のほうに入ってきてまして、一つは、もう、町会の方々が反対して、反対運動が起きてしまって、もう、他の町会でそのイベントをやらなきゃいけない事態が発生してしまった。それによって、その周りの若い方々も、町会なんか、ふざけんなど、絶対入らないという動きが出てきてしまったというのが1件。もう一つのところは、ウォークブルの事業の採択ではないんですけども、大学の方々が、ゼミが連携して、子ども向けのマンションのイベントをやろうという企画の中で、やはり一つの町会の役員の方が反対して、でも、そこは隣の町会の方が、あ、こちらで引き受けましょうというので、申請を一緒に出してくださるようになったと。そのようなイベントをやるときに、町会の許可がないと、これ、区が推進しているこのコミュニティを活性化するためにイベントをやっていきましょう……

○秋谷座長 春山議員、テーマの設定に沿った内容で……

○春山委員 あ、すみません。ごめんなさい。（発言する者あり）別の交渉をしましょう

と言っている中の、（発言する者あり）あ、すみません。手短にします。（発言する者あり）すみません。そうなんですけれど、その地域コミュニティと言ったときの、先ほどもご質問のあった地域コミュニティの形成と継承というところが、こう、横軸で通らない議論で条例化されても、結局機能しないものになってしまうと思うので、そこだけは、ごめんなさい、ご意見を述べさせていただきます。

○秋谷座長 ありがとうございます。（発言する者あり）小枝議員、春山議員からの課題も検討しながら進めていければというところでございます。

他にご意見がなければ、今回のテーマを、（発言する者あり）小野委員。

○小野委員 はい。本日も貴重な機会を頂き、ありがとうございます。また、前回は、率直な課題のご意見などもありありがとうございました。今、いろんなご意見が出た中で、次回の、どういうことを皆様と共に勧めていくかというところで、これは1月下旬を想定しているというところでした。今のいろんなご意見を聞いていても、そもそも地域コミュニティとは何を指すのかという、地域コミュニティが千代田区が町会を指すのか、それとも団体も含めるのかという、その定義的なものの共通認識ですとか、またいろんな今後の在り方、今後の地域コミュニティの定義をある程度理解したり、それから、様々な活性化している取組事例ですとか、みんなでやっぱり勉強していくというのが結構大事なのかなというふうに思いましたので、まあ、こちらは一つ意見としてなんですけれども、今、想定されている実施事業の内容というところで、例えば②番の有識者による講演・勉強会ですとか、また、一方的に聞くだけよりも、パネルディスカッション的な④番というところも、一つ勉強会として、ありなのかなというふうに思いました。テーマをどんなふうにして絞るかというところもあると思うんですけれども、一つ、意見として述べさせていただきます。

以上です。

○秋谷座長 ありがとうございます。

その他、ございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○秋谷座長 それでは、今回のテーマを、「これからの地域コミュニティの形成と継承」とし、次回の第3回の運営協議会は勉強会として、来年の1月下旬に、連合町会長の皆様と我々議員で有識者の方のお話を何う形にしたいと存じます。よろしいでしょうか。

〔「了承」と呼ぶ者あり〕

○秋谷座長 津田委員。

○津田委員 地域コミュニティの内容をこれから具体的に議論いただくのは、それでいいと思います。それで、仮置きとして置かれるのもいいんですけど、その場合、この概要のところの書き方をちょっと一部追記をお願いしたいんですけど、「各種団体等」というのがちょっと分かりにくいので、「在勤企業」とか、はっきり書いていただきたいと思います。ちょっとそれをお願いいたします。

○秋谷座長 承知いたしました。それでは、その点を含めて、私、座長のほうで預らせていただいて、検討いたします。

○岩佐委員 すみません。その点について。

○秋谷座長 岩佐議員。

○岩佐委員 地域企業にご協力いただくというのは、本当にこの千代田の特性だと思いますので、これは明確に書いたほうが良いと思うんですけども、先ほど出ていたエリアマネジメントですとか、今、要はコミュニティをつくるための様々な取組ということに対して、少し研究していかないと、コミュニティを実質的にどういうふうに回していくのか、担い手が少なくなっている中で、エリアマネジメントが支えて、後ろから支えてくれる場合も大いにありますので、そこのエリアマネジメントの活用の仕方ということも、しっかりと今回のこのテーマの中で深掘りしていかなくちゃいけないと考えますので、ぜひ、この概要の中には、もし「各種団体等」で確かに済ませてしまいますと、地域の企業さんというのがしっかりと当事者として見えてこない部分もありますので、エリアマネジメントとか、そういった地域の企業もエリマネも含めて、もう少し具体的に概要として上げていただけるようにお願いします。

○秋谷座長 ありがとうございます。

中曽根会長。

○中曽根委員 多町一丁目町会の中曽根でございます。私、神田駅前エリアマネジメントもやっております、出席して。時間がないので、あまりここではお話しできませんけれども、エリアマネジメントの定義をちょっと教えていただきたい、次回までに。ちょっと、お話ししている中で、私どもがやっている、私がやっているエリアマネジメントと、ちょっと乖離するような気がして、しょうがないんですよ、この会話が。だから、まず、今言われているエリアマネジメントというものの定義をまず教えていただきたい。

○秋谷座長 そうですね。

○中曽根委員 次回までで結構です。

○秋谷座長 はい。それでは、次回までにご用意させていただきます。

他、よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○秋谷座長 はい。では最後に日程3 その他 ですが、皆様から何かございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○秋谷座長 以上をもちまして本日の区民集会運営協議会を閉会とさせていただきます。皆様、ありがとうございました。

午後0時20分閉会